



奥多摩 福音の家 ニュースレター ● 2026.5 ●

News Letter

vol.
85

天に憧れて

運営委員

阿部 真知子

(JECA 前橋キリスト教会)



2026年1月から運営委員会に加わった阿部真知子です。私が初めて奥多摩福音の家の敷地に足を踏み入れたのは、大学1年の夏です。車を降りて庭を見渡した時、どこか懐かしさを覚えました。通っていた幼稚園の園庭にも消防車があり、その景色と重なったのです。皆さんも、行けばあの日の記憶がよみがえる原風景や思い出の地がおありかと思います。

「たましいのふるさと」としての福音の家も、訪れるお一人ひとりが主との深い交わりに立ち返る場(84号巻頭言参照)であることを願っています。これまでの60年の歩みにおいても、多くの方々の「ふるさと」であり続けられたのは、その名の通り、福音宣教という基礎に立ち続けてきたからでしょう。それだけでなく、天の故郷に思いを馳せる場所でもあるからでしょう。

ヘブル人への手紙11章には、旧約聖書の信仰者たちは約束のものは手に入れることはなかったとあります(13節)。アブラハムは、天の星のように、また海辺の数えきれない砂のように数多くの子孫を見ていません(12節)。モーセも約束の地に入る直前に、ピスガの頂きから全貌を見ることしか許されませんでした。彼らが自分の歩みはここまで、と受け入れられたのは、地上ではなく天の故郷を求めていたからだ続きます(14-16節)。生まれ育った故郷を離れて実際に旅人、寄留者となり、神の導きと御業を経験する中で、目指している場所は世にはないことを知ったのです。

信仰者たちは、神様はまだ見ぬ子孫たちに約束のものを与えてくださることを信じて、地上での歩みを終えました。

福音の家も、天の故郷に憧れていた信仰の諸先輩方の一歩から始められたはずです。今日までに「ふるさと」を訪れた方々も、この場所でも天の都の片鱗を見たはずです。ですからこれからも、神の民がもっと良い故郷を求めるために、同郷の旅の仲間たちとよりよい「ふるさと」を目指して歩み続けなければなりません。私たちも、福音の家の完成形を見ることはないかもしれません。地上の、人の営みですから、変化もありますし、いつも何かしらの課題に向き合わなければならぬでしょう(今もいくつもあって驚いています)。しかし、これまで福音の家に関わってくださった皆さんと、またこれから利用される方々と、共にそれらに取り組むことでも主は、私たちに完全な都を備えていることを教えてください。そうして一人でも多くの旅人たちと、その時の神様の導きと御業を見て喜び、将来の約束を確信して、天を仰ぎたいのです。

ぜひこの夏も、ご家族や教会、ご友人と一緒に福音の家にお立ち寄りください。またそれぞれの旅の途中であって覚えてお祈りください。訪れたお一人ひとりが、神様に会えますように。天の故郷への憧れを胸に、それぞれの教会生活や日常という旅へ歩みを進めますように。主の備えに期待をして。



A館再献堂礼拝レポート



再献堂式の動画は
下記のQRコードで
ご覧いただけます



YouTube



次代へつなぐ、 たましいのふるさと

柔らかな春の光が差し込む3月の奥多摩で、A館再献堂礼拝が執り行われました。OFI運営委員長の原雅幸師からは、ローマ人への手紙11章36節からメッセージが語られました。この場所が神様を中心とした交わりを深める「たましいのふるさと」とされることを願う、希望に満ちたメッセージでした。

続く「献堂の祈り」では、司会者と会衆で交互に祈りを捧げました。常勤スタッフをはじめ、長年尽力され4月に帰国されるベック宣教師、1月に訪日したばかりのフランツ宣教師、コロナ禍という困難な時期を支えた前運営委員長の大高師、そして4月からディレクターに着任する牧野師。世代も立場も異なる参列者の方々と祈りを一つにすることによって、これまで導いてくださった神様への感謝、そして神様のこれからの御業に期待するひと時となりました。

その一週間後、春の小中高生キャンプに集まった子供たちが、新しくなった部屋を見て歓声を上げました。この場所が次世代にとっても、神様の愛に触れる「たましいのふるさと」となるよう、これからも心を合わせて祈り続けていきたいと思えます。

運営委員 武田 遣嗣 (リーベンゼラ宣教団 国内宣教師)



献堂式の後には、A館改修にご尽力くださった、設計士さんや工事の責任を負ってくださった工務店の方も共に、食事の交わりの時間をもちました。



新しくなった1Fの2部屋「すぎ」「すも」、定員は8名から6名になりました。

運営委員長より

3つの報告と1つのお願い

主の御名が聖なるものとされますように。季節が移り変わる中、奥多摩の新緑も美しくなりました。いつも奥多摩福音の家を覚えて祈り、お支えくださる皆様に主の恵みがありますように。

2026年1月～3月期の経営状況としては、A館改修工事による利用者減、工事に関連した支出増のため営業利益は698万円の赤字となりました。前年度繰越金と献金によって資金ショートを回避している状況です。4月～6月の見通しも決して明るくありませんが、運営委員会は必要を満たして下さる主に信頼し、「すべての人に『たましいのふるさと』を」というビジョンを念頭に、福音の家が持続可能な形で、諸教会にお仕えしていく施策を考えています。

今回のご報告は大きく3つあります。1つ目は、チャペルのグランドピアノの入替(ヤマハC1Xの新品を導入)です。長年、福音の家で主を賛美するにふさわしい楽器のために祈り、献金して下さる方々がいました。また近年、キリスト教学校が音楽系の合宿で利用して下さる機会が増え、可能な限り良い環境を整えたいと願っての対応です。なお、福音の家のチャペルは湿度が高く楽器の保管には不向きなため、奥多摩福音の家「友の会」から業務用の除湿器を寄贈していただくことにしました。

2つ目は、昨年度から試験的に運用してきた「貸切利用」の価格改定(2割引)です。貸切利用は客室定員の枠内なら部屋の使い方を団体内でやり繰り返す

ことができ、宿泊料金の変動がありません。ぜひ活用を検討していただければ幸いです。

3つ目は、個人利用のご予約を利用の2か月前から可能にし、団体も含むすべての予約を1か月前に締切ることにより順次変更します。実は、60周年記念集会で個人利用の呼びかけをさせていただいた際「スタッフのお邪魔にならないか?」「お仕事を増やしてしまうのでは?」という声もありました。従来体制ではそのような面もあったので、今回の制度変更に踏み切りました。これにより個人のご利用を歓迎しつつ、スタッフの就労環境も守ることが可能になります。教会・団体が利用されるシーズンは集中します。平日や閑散期に個人がご利用下さると福音の家の運営はより堅実なものになります。ぜひ今から秋～冬の予定に福音の家での静かな一時をご計画ください。

最後に重要なお願いがあります。福音の家を円滑に運営していくのに諸教会からワーカーが送られてくる必要不可欠です。実は現在、夏期主催キャンプの期間中に貸し出し事業をお断りしているのですが、その主な理由はワーカー不足(期間中の不足だけでなく、経験者のネットワーク構築が最大の課題)なのです。福音の家でワーカーとして奉仕することは、教会と隣人に仕える実践的訓練になります。65歳からの「シニア枠」や宿泊を伴わない形での奉仕にも門戸を開いていきます。まずは6月27日(土)の「ワーカー体験Day」に教会の兄弟を送り出していただけないでしょうか。地域教会の兄弟と共に建て上げる福音の家でありたいと願っています。

運営委員長

原 雅幸 (JECA キリスト教たんぼ教会)

2026年年度 経営状況

(3月31日現在)

収入見込(献金を含む)
7651万円



着任の ご挨拶

このたび4月より、リーベンゼラ日本宣教団の二人目の国内宣教師として、奥多摩福音の家ディレクターに就任いたしました。

これまで、1993年7月から6年6ヶ月はキャンプコーディネーターとして、また2016年9月からコロナ禍の2021年5月に休職するまで非常勤ディレクターとして関わらせていただきました。その後は牧会に専念しておりましたが、2024年には宣教団責任役員および奥多摩福音の家運営委員になり、奥多摩福音の家の働きをより身近に覚える機会が与えられてきました。

そうした中で、ディレクターが非常勤では様々な限界があることを感じて祈りに導かれました。自分の欠けを覚えつつも、御言葉を通してギデオンに働きを委ねられた主に応答するように導かれ、ドイツの宣教団本部の了承もいただき、国内宣教師として仕えさせていただくことになりました。

これからは、牧師兼任では難しかった教会訪問にも少しずつ取り組んでいけたらと願っております。礼拝だけでなく、平日の集会などの機会にも、奥多摩

福音の家の働きや国内宣教師としての歩みを分かち合う機会をいただけましたら、とても感謝です。まず、これまでご支援くださっている教会や、キャンプにご参加くださっている教会、施設をご利用くださっている教会などへ、ご挨拶に伺えればと願っています。

訪問のご相談をさせていただく際には、どうぞ温かく迎えていただけましたら幸いです。また、その際に宣教の奉仕の機会もいただけましたら、うれしく思います。どうぞ気軽にお声がけください。

これからの歩みのために、お祈りいただけましたら幸いです。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



奥多摩福音の家ディレクター 牧野 広隆

はじめまして!



キャンプコーディネーター
高橋 瑠華(たかはしるか)

このたび4月より、キャンプコーディネーターとして、奥多摩福音の家のスタッフになりました 高橋瑠華 と申します。

私はこれまで6年間、東京基督教大学において、聖書についてはもちろん、ユースミニストリーやリーダーシップなど、様々なことを学ばせていただきました。その経験を生かし、参加される皆さんが安心して過ごすことができ、神様と共に歩んでいけるキャンプ場づくりに、全力で取り組んでいきたいと願っています。

まだ至らない点も多くあるかと思いますが、ぜひお祈りをもって支えていただけましたら幸いです。

また、奥多摩福音の家でのキャンプを通して一人ひとりが神様の愛を感じ、信仰が深められていくようにサポートするとともに、チーム一丸となって、参加者の皆さんと心に残る豊かな時間を築いていきたいと考えております。どうぞよろしく願いいたします。

Camp Report

主催 キャンプ 報告

主の御名を賛美いたします。いつも福音の家の働きを覚え、お祈りくださり、心より感謝いたします。

3月25日～28日に開催された春の小中高生キャンプは、キャンプコーディネーター交代の時期と重なりましたが、神様の確かな守りと豊かな祝福のうちに、無事に終えることができました。

一方で、諸教会への案内が到着する前に、SNSでの告知と同時に受付を開始したため、諸教会でご案内くださる頃には既にキャンセル待ちとなっている状況が生まれました。そのため多くの皆さまにご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。今後は、申込開始日を定めるなどの工夫を行い、同様の

ことが起こらないよう改善してまいります。

また、教会・団体に加え個人へもキャンプ案内の範囲が広がったことや、業務の効率化を図る中で、今後も案内方法・申込み方法などに変更が生じる可能性があります。そのような中で、利用しづらい点や分かりにくい点などがございましたら、どうぞ遠慮なくお問い合わせください。いただいたお声をふまえて改善に努めてまいります。

皆さまのお祈りとご支援によって、福音の家のキャンプ伝道の働きは支えられております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

運営委員 児玉 智継 (JECA 布佐キリスト教会)



小学生45名・中学生36名、奉仕者34名を含めた115名が集められました。

春の小中高生キャンプ

テーマ「CLEAN TA・KA・RA」

講師 小学生=原田 帆海路 師 (JECA岩井キリスト教会)

中学生=相山 暁 師 (クロスコミュニティー教会)



奉仕者の証し

私は今年の春の小中高生キャンプで、リーダーズとしてご奉仕をさせていただきました。今回のキャンプは、福音の家のスタッフの入れ替わりの時期でもあり、リーダーズとしてもさまざまな不安を感じながら準備期間を過ごしました。実務的なことや自分の無力さに心が向いてしまう中で、キャンプのテーマ聖句であった、マタイの福音書6章21節の御言葉に何度も立ち返らされ、心を神様に置き、主に委ねて

期待していくことの大切さを教えられました。

キャンプが始まると、子どもたちの言葉や姿の一つひとつを通して、主がこのキャンプの真ん中におられることを強く感じ、この働きが主ご自身のものであることを覚えさせられました。

これからも、このキャンプ伝道の働きのために祈り続けていきたいと思えます。

リーダーズ 石崎 輝里 (久喜福音自由教会)

貸切料金を20%OFFに価格改定！ 各階ごとの貸切利用も便利です。

客室定員に左右されない部屋割りや、複数の集会室のご利用など、施設を自由に使いたい。「貸切利用」は、そんなニーズにお応えできるご利用方法です。昨年、「全館貸切」「各館貸切」を試験的に導入し、今回、「各階貸切」を加えて本格運用となります。価格改定により、通常の利用料金よりお得な価格設定となりますので、参加者の急な減少によるキャンセル料金の負担が少ない「貸切利用」を選択肢の一つとして、ぜひご検討ください。

詳しくは、ホームページの [ご予約・お問い合わせ](#) から [貸切料金のご案内](#) をご覧ください。

「カウンセラートレーニングキャンプ」 「ワーカー体験DAY」を開催します。 キャンプを通して主に仕えてみませんか？

6月26日(金)～27日(土)に「カウンセラートレーニングキャンプ」と「ワーカー体験DAY」を同時開催。キャンプ奉仕に志のある方のご参加をお待ちしています。詳しくは、案内チラシをご確認ください。下のQRコードでもチラシがご覧いただけます。



カウンセラートレーニング



ワーカー体験DAY

奥多摩福音の家 (@512radup) LINE公式アカウントはじめました！

キャンプ案内や奉仕者募集などの最新情報をLINEで配信します。メッセージを受け取るには、奥多摩福音の家公式アカウントを友だち追加してください。



夏の主催キャンプの案内チラシ発送& SNS告知は、6月上旬を予定しています。

夏の主催キャンプの情報は、案内チラシ、ホームページやSNSでもお知らせします。必要な奉仕者が与えられ、準備が整えられるようお祈りください。

2026年 夏の主催キャンプ

- 8月3-6日 小学生キャンプ
- 8月9-11日 ファミリーキャンプ
- 8月13-15日 小学生Jrキャンプ
- 8月18-21日 中高生キャンプ

ニュースレター85号(PDF版)は
右のQRコードでもご覧になれます。
ご活用ください。



献金先

郵便振替口座 00170-5-92451 奥多摩福音の家
〈他行から〉 ゆうちょ銀行 〇一九 店(ゼロイチキユウ) 口座番号 0092451

福音の家の利用はホームページからご予約いただけます

◎ご予約可能日、指定期間などを記載した「予約カレンダー」を掲載しています



www.ofi.camp
公式ホームページはこちら



お問い合わせ info@ofi.camp ☎ 0428-85-2317 (平日9:30-17:30)